

柿山公民館だより

また来たくなる 心つながる公民館をめざして



令和6年1月6日 記念放水

1年を振り返って

月日が経つのは早いもので、館長を仰せつかって1年が経とうとしています。3年以上続いた新型コロナウイルス感染症が5月に5類に移行し、平時に戻って、今年度の各種事業は計画通り開催することができ、大変うれしく思います。地域の皆様にご理解、ご協力をいただき、皆様に支えられてこれたものと感謝を申し上げます。

今まで経験したことがない大きさで、大きな驚きと心配が重なりました。被災された方々に、心より哀悼の意とお見舞いを申し上げます。ただ公民館としては課題も多く残ることになりました。緊急時の時に素早く対応できるよう、今後、対策を講じて参ります。皆様には来年度も来やすい公民館づくりを心がけて運営していきます。今後ともよろしくお願ひいたします。

館長 島 正彦



窓越しのさきやき

コロナが第5類に移行し、いろいろな活動が活発になります。回復の兆しが見えてきたような気がします。

年明けの1月1日、誰かが予想したであろう能登半島地震が起き、その後の避難所としての対応等、実体験を通して考えさせられることが多々あった後日、ことづてに当館に避難された方より、親切な対応に感謝してねられたと聞いて、胸が熱くなった。災害時に何が大切か改めて知った。二度とあってほくないが

「体験に勝る学びはない!」と感じている。

By 島先

今後の取り組み ※重要

令和6年能登半島地震に際して

柿山公民館は、町の指定避難場所で、44名の方が避難されて7名の方が泊まりました。ただ、初めてのことでの対応で、どう対応すればよいか分からぬことが多い、以下のような課題が多く残ることになりました。

課題例

鍵が閉まって入れない → マニュアル上、町の職員が開けることに

どこに、誰に連絡したらよいか
わからぬ…



5年間
譲渡先が
決まらない

解体

日柿山保育所

旧柿山保育所の再利用推進について

昨年9月に、柿山保育所と横山保育所が統合されて「とうり保育所」が開所となりました。園児にとって新しく良い環境ができました。

ですが現状のままでは、旧柿山保育所はこうなります。



5年間
譲渡先が
決まらない

解体

日柿山保育所

公民館としては今後このようなことが起こらないためにも、状況により地区の管理人が開けてよいのではないか等、改めて初期対応の防災マニュアルの作成を提案しています。

山野草展示会

6月3日(土)～4日(日)

主催：花と緑の銀行 桐山地方銀行
後援：北日本新聞社



花と緑の銀行主催の山野草展が前田

前頭取のご逝去を悼み、感謝して、6

月初めの土、日に開催されました。

山野草を育てられている皆様に、鉢

を持ち寄っていただき、皆様に清楚で

可憐な山野草を見ていただきました。

ふるさと再発見の日帰りバスツアーを入善観光バスにて、今回は長野小布施方面を旅行しました。

天候は晴れて旅行日和です。桐山公民館を8時に出発し、10時頃、江戸時代創業の酒蔵、松葉屋本店を見学しました。昼食は、齋実亭で栗おこわとそばをおいしくいただきました。

次に・小布施の町を散策して、北斎館を見学しました。北斎の青年期から老年期までの作品が展示され、見ごたえのあるものでした。

最後に岩松院へ行き、170年経つ、今も色あせない葛飾北斎の天井絵を見学しました。

情緒あふれる小布施の町と文化・美術に触れて、1日楽しく晴れやかに過ごすことができました。

公民館大掃除

7月22日(土)



公民館をご利用いただいている区長会、社協、民生、婦人会、公民館利用者の皆様に、日頃手の届かない所等を掃除していただきました。

大変清々しく、きれいになり、これからも大いに公民館を利用、活用していただければと思います。ありがとうございました。



魚つかみ取り大会

8月26日(土)



魚つかみ取り大会

7月30日(日)

昨年に引き続き、横山公民館と共に催で、基づとして、低学年、高学年の入場を分け、プール取つて行いました。

子供たちにとって、夏休みの最後の楽しい

もよく、1000匹程の魚を元気に楽しく、少しご合つて、つかみ取りをしました。

ふるさ



ふるさと探訪ウォーク 10月12日(木)

<主な行程>
横山「なぎさ館」→春日神社・明栄寺
→海岸通り→西ノ宮神社→洋上風力発電
→八善マリンウインド合同会社→横山御藏跡
→専徳寺→横山「なぎさ館」

ふるさとを自分の足で巡る探訪ウォーク。今回は、今注目の洋上風力発電と身近な地域の今と昔について巡ってみました。

ナビゲーターは、黒部川扇状地研究所副所長 銀谷良和さんです。さわやかな秋晴れで、海を見ながらのウォーキングは心地よく、楽しく歩きました。



棚山公民館まつり 11月4日(土)～5日(日)

子供たちや地域・サークルの皆さんのが発表の場、集う場として、恒例の公民館まつりを開催しました。催しの部では、男女共同参画推進協議会主催の入善町スポーツ推進委員の中野悦子さんによるシナブソロジーです。笑顔で楽しく、皆で体操しました。

おもてなしの部では茶道教室の抹茶のふるまい、展示の部では園児・児童の作品、公民館利用者、地域の方より、生け花、山野草・盆栽、書・写真、陶芸等を出品していただき、その趣を拝賞しました。

ランチサービスは、カレーライスをみんなでおいしくいただきました。

三世代交流もちつき大会 12月10日(日)

昔ながらのもちつき大会を棚山地区社会福祉協議会と共に開催しました。子供たちは、ほとんどもちをつくのは初めて。元気よく子供たちで重い杵を"よいしょ" "よいしょ"お父さん、お母さんと一緒に"よいしょ" "よいしょ"初めてのもちつきを体験しました。

ついたものは、あんこ、きな粉、ごまをまぶして、みんなでつきたてのもちを、豚汁と一緒においしくいただきました。

親子そば打ち体験会 2月17日(土)



週末のひと時を昨年に引き続き、桃李小学校の児童、父兄11組の皆さんをお迎えして、親子そば打ち体験会を開催しました。

講師は、JAみな穂青壮年部の皆様です。初めての方が多いため、講師の方から、そば打ちを分かりやすく教えていただき、真剣な眼差しで、楽しく、そば打ちを体験しました。出来上がって、親子で打ち立てたそばをおいしくいただきました。

第4回 元気わくわくカローリング大会 2月18日(日)

杷山地区、恒例の第4回元気わくわくカローリング大会が地区内9チームの参加をいただき、晴れ晴れと開催されました。

各チームは、1月末より公式練習を5日間行い、チームワークとコミュニケーションの向上を図り、大いに元気よく、楽しく、そして真剣にプレーして争奪戦が行われました。

上位 順位
優勝 2分団
次勝 田ノ又
三位 杷山新

協力団体
杷山地区体育協会

杷山地区福祉会 入善町カローリング協会



女性学級

7月9日、23名の参加者と南砺市方面へ観察旅行に行ってきました。当日は30度と暑く、汗をかきながらの移動となりました。観察地では、棟方志功記念館や城端曳山会館、世界遺産の相倉集落を訪れました。特に棟方志功については富山にゆかりがあることを聞いていましたが、実際に福光町に7年間疎開していたことや、数々の傑作を生み出したことに驚きました。お昼は、久しぶりに豪華なランチと冷たいビールで参加者同士の親睦を深めることができました。暑い中でしたが充実した観察旅行となりました。



入善町生涯学習推進功労券表彰

去る9月3日(日)、コスモホールにて生涯学習推進大会・男女共同参画フォーラムが開催され、前杷山公民館館長の池原正さんが入善町生涯学習推進功労券表彰を受賞されました。

池原さんは平成26年から公民館職員を務められ、平成31年から令和4年度まで公民館館長として、優れた見識を活かし各種団体と連携をとって円滑に事業を実施して公民館活動の推進に貢献されました。

また新規事業の元気わくわくカローリング大会やふるさと探訪事業等を実施することで公民館の利用促進に努められ、地域の生涯学習活動の推進に大きく寄与されました。現在、公民館協力員として支援をいただいています。

全国公民館連合会永年勤続職員表彰

令和5年度全国公民館研究集会及び東海北陸公民館大会岐阜大会が10月20日(金)岐阜県大垣市で開催され、全国公民館連合会永年勤続職員表彰において、杷山公民館の主事補・管理人の島先紀子さんが受賞されました。

島先さんは現杷山公民館が開館した平成15年4月から今日まで21年間長きにわたり公民館の事務業務等を熱意と誠意、そして隠筆をもって担われました。



あとがき

令和5年度も早や終わろうとしています。自然等の生活環境を顧みますと5月には新型コロナウイルス感染症が5類に移行しほっとしましたが、夏は記録的な猛暑で熱中症に注意して過ごしました。元日には大きな能登半島地震が発生し自然災害の怖さを感じたところです。これらに対する準備、備えを行い、一步一歩前へ進めていかなければと思います。

終わりに杷山公民館は皆さんとの利用を通じて地域住民の「集う」「学ぶ」「つなぐ」の地域の学習拠点として、皆さんにより恵まれています。今後とも地域に根ざした活動拠点として利用促進を継続していただければと思います。